

News Letter

2019.10

Vol. 18

Contents

- キャリアに関する問題解決実践型授業
- 女性医師・研究・研究者と語ろう
- 第9回中塚医学賞表彰式・受賞セミナー
- お知らせ&お願い



キャリアに関する問題解決実践型授業が 開催されました

本学の医学教育センター 中川幹子先生が担当の「健康科学概論」のキャリア教育の授業が6月14日（金）、7月5日（金）、12日（金）と3回に分かれてありました。

この講義は、医学部医学科・看護学科の1年生を対象とした合同授業で、「プロの医師とは何か」を問い、職業としての医師に誇りを持ち、よりよい医療を常に求め続けることのできる人材育成と、学生自身が将来のイベント（結婚や出産・家族の介護など）とキャリア継続をどのように進めて行くかを具体的に考えられるようになることを目的としています。

1回目の6月14日は、医療人の男女共同参画についての講義を松浦先生が担当しました。

2回目の7月5日では、16班に分かれた学生たちが事前に渡されたテーマについて、KJ法と二次元展開方法を用いてグループ討論しました。グループ討論のテーマは1～8班が、「将来、医療人として活動する我々が、現時点で身に着けるべき資質とは」について、9～16班は「医療人として男女ともにキャリアを継続するには何が必要か」についてです。

3回目の7月12日では、2回目に行ったグループ討論の結果の発表です。グループ発表での司会進行等の運営も学生自身が行い、活気のある授業となっていました。

1つ目のテーマである「現時点で身に着けるべき資質」では、多くの班がコミュニケーション力・向上心を挙げていました。その中で、コミュニケーション力を上げるためには何をすればよいかという発表で、「ぶりっこになる」という意見が出ていました。学生の説明によると良い意味でのぶりっちは、明るく、いろんな人とコミュニケーションをとるのが上手なので、ぶりっこをみならえば、おのずとコミュニケーション力がつくとのことでした。

2つ目の「キャリアを継続するために必要なもの」では、結婚後の育児や家事の分担のため労働環境の整備が必要との意見が多くの班から挙げられていました。また、出産・育児支援について調べる中で、保育園だけではなく、病児保育室があることを知りましたという意見もでていました。



講義風景



グループ発表 での意見

現時点で身に着けるべき資質とは

- ・切磋琢磨すること
- ・コミュニケーション力
- ・向上心
- ・協調性

キャリアを継続するために必要なこと

- ・育児や家事の分担を行う
- ・育児をしながら働ける環境の整備
- ・育児に関する法律制度の整備



医学部オープンキャンパスで 「女性医師・研究者と語ろう」を開催

8月9日（金）、医学部のオープンキャンパスで「女性医師・研究者と語ろう」が開催されました。

医学部へ進学を考えている女子高校生や保護者の方が立ち寄り、「診療科を選んだ理由」「医師として働くには」など多くの質問をしていました。

女性医師から医師のやりがいについて、女性医研究者から入試に役立つ勉強方法についてのお話があり、女子高校生たちは、熱心に聞いていました。



第9回中塚医学賞表彰式・受賞者セミナー開催

10月1日（火）、臨床大講義室にて中塚医学賞表彰式が開催されました。

生命科学・医学専門分野3名及び看護専門分野1名が受賞され、表彰式に続き、受賞者セミナーが行われました。

センター委員の皮膚科竹尾先生が生命科学・医学分野で受賞され、「コチニール色素による即時型アレルギー」についての研究を発表されました。



お知らせ&お願い

教員相互の授業参観（FD） のご案内

10月30日（水）8時30分～16時30分臨床中講義室にて医学部4年生の「キャリア教育」を行います。授業見学ができますので、是非、ご参加ください。

注）10：00～12：00の時間帯はチュートリアル室でグループ討論を行っていますが、見学は可能です。

医師キャリアサポートブック 作成依頼

診療科長宛に10月11日付で「大分県版医師キャリアサポートブック」作成依頼の一斉メールを送付いたしました。診療科のアピールにもなりますので、是非、ご協力をお願いいたします。

注）11月8日を期限とさせていただきます。

ご不明な点はセンター（内線5715）までお問合せ下さい